

平成30年度

事業報告書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

公益財団法人都市緑化機構

平成30年度 事業報告

都市のみどりは、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全といった地球規模での環境問題への対応、ヒートアイランド現象に対する緩和や適応、大規模地震や豪雨・火災等に対する防災・減災効果の発揮など、国民の安全・安心な生活と、豊かさを実感できる都市の環境を形成する上で欠かせないものとなっている。

近年では、少子高齢化、人口減少、財政問題等を背景に、行政による公園整備などの公的なみどりの空間確保とともに、市街地の大半を占める民有地におけるみどりの保全、創出とそれらの良好な管理運営が進められるよう、市民、企業、行政等との連携・協働による取り組みを促進することが益々重要となってきている。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催まで2年と迫っているなか、より快適な環境下での競技への参加・観戦、外国人観光客へのみどりを通じた都市の魅力の発信などを実現するため、みどりを活用した都市環境の整備、さらには国際競争力のある都市づくりを進めていく必要がある。

このような諸課題の解決のためには、みどりに関する技術の開発や調査研究、知識の普及啓発、優れた緑花活動を行う団体等の顕彰・助成、並びにみどりの保全・創出等に関する価値観の共有などにより、都市住民や企業などの多様な主体が参加する緑化活動を従来にも増して強力に支援していく必要がある。

このため、みどりに関する市民活動と企業活動、行政の取組みを結びつける協働関係としての「みどりのわ」の構築により、都市における多様な主体によるみどりに関する活動の連携を強化し、みどりに関する国民運動を盛り上げていくことが重要である。

当機構は、みどりによる安全で快適な都市環境の創造や、人と自然が調和したみどり豊かなまちづくりの実現に寄与すべく、引き続き公益財団法人として適切な運営に努めることとし、平成30年度においては、次の事業を実施した。

1. 普及啓発事業

(1) 全国都市緑化フェア

国民の緑化意識の高揚を図るため、山口県及び山口市との共催による第35回全国都市緑化やまぐちフェア「山口ゆめ花博」を、山口きらら博記念公園（山口県山口市）をメイン会場として、以下のとおり開催した。

主 催	山口県、山口市、公益財団法人都市緑化機構
開 催 地	山口きらら博記念公園（山口市）
開催期間	平成30年9月14日から11月4日まで（52日間）
入 場 者	136万人

また、開催期間中、フェアにおける普及啓発催事の一環として、企業の長年にわたる緑地の保全管理を通じた社会貢献活動を顕彰した。

- 宇部興産株式会社 宇部興産専用道路緩衝緑地等（山口県宇部市）
- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
大分テクノロジーセンター国東サテライト（大分県国東市）
- 福岡地所株式会社 キャナルシティ博多（福岡県福岡市）

さらに、フェア会場内での子どもたちの環境教育の取組みとして1,500人を超える子どもたちが参加した「たねダンゴ」による花壇づくりを公益財団法人高原環境財団の協力により実施した。

(2) 全国都市緑化祭

第35回全国都市緑化やまぐちフェアの中心的な行事として、秋篠宮同妃両殿下の御臨席のもと、平成30年度全国都市緑化祭を開催した。

主 催	国土交通省、山口県、山口市、公益財団法人都市緑化機構
式典会場	山口きらら博記念公園多目的ドーム
開催日	平成30年10月3日(水)
式典概要	主催者挨拶 秋篠宮殿下おことば 表彰 ・庭園出展コンテスト ・みどりの社会貢献賞 生徒・児童による都市緑化宣言 閉会宣言 (式典終了後、式典参加者とともに、記念植樹)

(3) 都市緑化キャンペーンの実施及び普及啓発ポスター等の配布

市民の都市緑化意識の高揚を目的として、以下のとおり都市緑化キャンペーンを開催した。また、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により普及啓発ポスター等を作成、配布した。

○ 都市緑化キャンペーン

主 催	都市緑化推進運動協力会 企画運営：公益財団法人都市緑化機構
実施日	平成30年10月21日(日)
会 場	都立日比谷公園(東京都千代田区)
概 要	全国都市緑化信州フェアの紹介等 花苗400鉢の配布
参加者数	約3,000人

○ 普及啓発ポスター

時 期	「春季における都市緑化推進運動」(4月1日～6月30日) 「都市緑化月間」(10月1日～10月31日)
配布枚数	各12,000枚
配布先	国、地方公共団体、緑化関係団体、日本商工会議所の会員、 日本民営鉄道協会加盟の私鉄各社など920団体及びその

関係団体

(4) その他

平成30年度「都市緑化月間」（10月1日～10月31日）をはじめ、国や緑化関係団体等が行う緑化に関する諸行事に対する後援、協賛を行った。

2. 顕彰・助成事業

(1) 緑の都市賞

明日のみどり豊かな都市づくり・まちづくりの推進を目的として、市街地等において「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な実績と成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を顕彰している。

第38回「緑の都市賞」は、審査委員会（平成30年8月29日（水）及び9月28日（金）開催。委員長：樺山紘一 印刷博物館館長）を経て、以下の7件が受賞した。

賞	部門	受賞者
内閣総理大臣賞	緑の市民協働	『鶴見「みどりのルート1」』（神奈川県横浜市） 鶴見「みどりのルート1」をつくる会
国土交通大臣賞	緑の市民協働	「おおたかの森と名付けた平地林」（埼玉県所沢市） おおたかの森トラスト
	緑の事業活動	「医療法人恵愛会福岡病院」（福岡県福津市） 有限会社緑風会／医療法人恵愛会福岡病院
	緑のまちづくり	『農の活きるまち「ねりま」』（東京都練馬区） 練馬区
都市緑化機構 会長賞	緑の市民協働	「自由に楽しむ朝霞の森広場をみんなで育てる」（埼玉県朝霞市） 朝霞基地跡地の自然を守る会／朝霞の森運営委員会
	緑の事業活動	「大阪ステーションシティ」（大阪府大阪市） 大阪ターミナルビル株式会社／西日本旅客鉄道株式会社
	緑のまちづくり	「津波防災緑地等の多重防御による復興まちづくり」（福島県いわき市） 福島県いわき建設事務所／いわき市／薄磯区／豊間区／独立行政法人都市再生機構宮城・福島震災復興支援本部

(2) 緑の環境プラン大賞

みどり豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等を実現することを目的として、優れたプランを国土交通大臣等によって表彰し、そのプランの実現のための助成を行う第29回「緑の環境プラン大賞」を、一般財団法人第一生命財団との共催により実施している。その中で、2020年までの特別企画として、東京都内に限定して花と緑で観光客等をお迎えする優れた緑化プランに対する助成を行う「おもてなしの庭」を実施している。

第29回「緑の環境プラン大賞」は、審査委員会（平成30年9月26日（水）開催。委員長：進士五十八 福井県立大学学長）を経て、シンボル・ガーデン部門として以下の3団体に対して約2400万円（1団体あたり約800万円）、ポケット・ガーデン部門として以下の10団体に対して約1000万円（1団体あたり約100万円）の助成を決定したほか、特別企画「おもてなしの庭」として以下の1団体に対して2020万円の助成を決定した。

■第29回緑の環境プラン大賞受賞作品

●国土交通大臣賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
シンボル・ガーデン	輪島の朝市 横蝶～蝶々とあそぶ みんなの庭をつくろう	石川県 輪島市	チームおんぺこ
ポケット・ガーデン	地域の団らん「遊歩道」 ～フラワー・ピースフル・ ロード～	宮城県 仙台市	仙台ナーサリー株式会社 ピースフル保育園

●緑化大賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
シンボル・ガーデン	花の歩話人ロード西公園	宮城県 仙台市	西公園を遊ぼうプロジェクト
シンボル・ガーデン	緑とお花と癒しの広場・地域の 「どぎゃんね・ガーデン」	熊本県 熊本市	社会福祉法人沼山津福祉会 光輪保育園

●コミュニティ大賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
ポケット・ガーデン	こくちょう広場 ～季節を感じる場所に～	宮城県 仙台市	社会福祉法人仙台愛隣会 穀町保育園
ポケット・ガーデン	地域の魅力を共有・発信する 青葉山フットパーク	宮城県 仙台市	青葉山・八木山フットパスの会
ポケット・ガーデン	変革！「保育園森プロジェクト」 地域の人と繋がる窓へ	福島県 郡山市	社会福祉法人どろんこ会 郡山どろんこ保育園
ポケット・ガーデン	「自然を身近に！心も身体も 動き出したくなる園庭」整備	静岡県 浜松市	社会福祉法人住吉会 すみよし保育園
ポケット・ガーデン	花と緑の四季彩まちづくり	奈良県 生駒市	E C O K A 委員会
ポケット・ガーデン	木の都 上町台地における 「ともいきの里庭」整備プラン	大阪府 大阪市	特定非営利活動法人 まち・すまいづくり
ポケット・ガーデン	水がせせらぎ蛍の棲む 高層住宅の中のシンボル緑化計画	兵庫県 西宮市	社会福祉法人パドマ園 パドマ・ナーサリースクール
ポケット・ガーデン	モリアオガエルの暮らす 水辺の植物ガーデン	広島県 広島市	広島市立緑井小学校
ポケット・ガーデン	ふるさとの山（八面山） 回帰プロジェクト	大分県 中津市	元気会

●「おもてなしの庭」大賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
------	------	-----	-----

特別企画 「おもてなしの庭」	江戸ルネサンス 伝統と文化が薫るおもてなし	東京都 台東区	台東区
-------------------	--------------------------	------------	-----

(3) 屋上・壁面緑化技術コンクール

建築物等の屋上や壁面、人工地盤などの特殊空間における緑化技術の普及推進による都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、優れた緑化技術を用いて、ヒートアイランド現象の緩和、省資源・省エネルギーの推進、生物多様性の確保といった都市環境の改善やみどりを活用した新たな空間の創出を実現した作品を顕彰している。今回も、応募作品の面積が300㎡以下の「小規模空間の緑化」をテーマとする特定テーマ部門を実施した。

第17回「屋上・壁面緑化技術コンクール」は、審査委員会（平成30年8月28日（火）開催。委員長：山田宏之 大阪府立大学大学院教授）を経て、以下の11件が受賞した。

賞	部門	受賞者
国土交通大臣賞	屋上緑化	「GINZA SIX」(東京都中央区) 銀座六丁目10地区市街地再開発組合/株式会社谷口建築設計研究所 ほか
	壁面・特殊緑化	「新山口駅『垂直の庭』」(山口県山口市) 山口市/新山口駅南北自由通路「垂直庭園」実行委員会 ほか
環境大臣賞	屋上緑化	「パッシブタウン第1期街区+第2期街区」(富山県黒部市) YKK不動産株式会社/株式会社プレイスメディア ほか
	壁面・特殊緑化	「福德神社・福德の森」(東京都中央区) 三井不動産株式会社/株式会社日本設計 ほか
日本経済新聞社賞	屋上緑化	「太田市美術館・図書館」(群馬県太田市) 太田市美術館・図書館/株式会社平田晃久建築設計事務所 ほか
	壁面・特殊緑化	「小学館ビル」(東京都千代田区) 小学館不動産株式会社/株式会社日建設計 ほか
都市緑化機構 会長賞	屋上緑化	「グローバルゲート」(愛知県名古屋市中区) 株式会社竹中工務店/有限会社オンサイト計画設計事務所 ほか
	壁面・特殊緑化	「コイズミ緑橋ビル」(大阪府大阪市) 小泉産業株式会社/株式会社竹中工務店 ほか
	壁面・特殊緑化	「横浜野村ビル『グリーンラジエーター®』」(神奈川県横浜市) 野村不動産株式会社/清水建設株式会社 ほか
	特定テーマ	「アトレ恵比寿西館空中花園」(東京都渋谷区) 株式会社アトリウム/株式会社アトレ ほか
	特定テーマ	「本等鯨海馬」(東京都中央区) 株式会社 kt 一級建築士事務所/神戸山手大学 ほか

■表彰式の開催

「緑の都市賞」、「屋上・壁面緑化技術コンクール」及び助成事業である「緑の環境プラン大賞」の受賞団体を表彰するため、眞子内親王殿下ご臨席のもと、

第2回「みどりの『わ』交流のつどい」-都市の緑三賞表彰式-を開催した。

主 催 公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団

開 催 日 平成30年11月19日（月）

会 場 明治記念館（東京都港区）

式典概要 主催者挨拶

眞子内親王殿下のおことば

祝 辞

賞状授与

（1）第38回 緑の都市賞

（2）第29回 緑の環境プラン大賞

（3）第17回 屋上・壁面緑化技術コンクール

受賞者代表挨拶

（4）花王・みんなの森づくり活動助成

次世代にみどり豊かな環境を引き継ぐとともに、みどりとのふれあいを通して、子どもたちの心身の健やかな成長を図ることを目的として、身近な緑を守り、育てる活動と子どもたちがみどりとふれあう機会を創出する活動に取り組む市民団体の支援を花王株式会社との共催により実施している。

支援の期間は3年間で、1団体あたり初年度50万円、2年目50万円、3年目25万円の総額125万円を上限に助成を行っている。

平成30年度は、選考委員会（平成31年1月23日（水）開催。委員長：蓑茂壽太郎 東京農業大学名誉教授）を経て、以下の18団体を新たに支援対象として決定したほか、2年目継続14団体、3年目継続21団体に対する支援を行った。

■ 平成30年度 花王・みんなの森づくり活動助成 新規助成決定団体

活動場所	団 体 名	活 動 名
北海道 平取町	特定非営利活動法人 近自然森づくり協会	アイヌの伝統的生活空間であるイオルの 森の整備
北海道 札幌市	子供と作ろう種から育てる 未来の森	子供と作ろう種から育てる未来の森 五天山プロジェクト
宮城県 仙台市	ゆりりん愛護会	海岸林再生プロジェクト
茨城県 古河市	特定非営利法人 こが里山を守る会	市民・子どもたち参加の自然環境（里山） 体験活動
山梨県 北杜市	清里・朝日ヶ丘班（行政区） 景観委員会	清里「牧場通り」森づくり活動
新潟県 十日町市	二六公園保存会	地域住民の憩いの場人づくり活動
新潟県 妙高市	妙高市里山保全クラブ	子どもや市民が集える自然体験の 場としての森づくり
東京都 国立市	社会福祉法人滝乃川学園	滝乃川学園ガーデンプロジェクト

神奈川県 二宮町	湘南二宮・ふるさと炭焼き会	西谷戸雑木林再生プロジェクト
愛知県 名古屋	枯れ枝伐採ボランティア 倶楽部	小幡緑地の森を間伐実施により、より 持続可能な森に育てていくプロジェクト
三重県 名張市	伊賀竜口ヤマザクラを 育てる会	ヤマザクラ下草刈十字軍
福井県 大野市	里山銀杏峰を愛する会	命の水を育む銀杏峰癒しの森に
大阪府 交野市	きさいち植物園ファンクラブ	こどもたちにまるごと残そう植物園
大阪府 柏原市	かしわら森の会	玉手山こども体験の森づくり プロジェクト
京都府 長岡京市	特定非営利活動法人京おとく に・街おこしネットワーク	京都西山・心安らぐ花と緑の森づくり
兵庫県 丹波市	兵庫丹波オオムラサキの会	国蝶「オオムラサキ」が舞う兵庫丹波 地域の里山づくり
鳥取県 伯耆町	グランドワーク大山蒜山	大山ナメクジ山の奥山・里山森林再生で 進める美しい山づくりと森の自然学校
福岡県 糸島市	NPO法人いとなみ	森と海と人のつながり

このほか、事業の一層の充実を目的とした企画の検討を行った。

(5) 全国花のまちづくりコンクール

花のまちづくりを普及させるため、花のまちづくりコンクール推進協議会（公益財団法人日本花の会、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会、一般財団法人日本花普及センター、公益財団法人都市緑化機構により構成）の主催により、花によるまちづくりの優れた取り組みを顕彰している。

第28回「全国花のまちづくりコンクール」は、審査委員会（平成30年8月1日（水）、9月3日（月）に開催。委員長：輿水 肇 公益財団法人都市緑化機構理事長）を経て、以下の80件が受賞した。

賞		部 門	受 賞 者
花の ま ち づ く り 大 賞	国土交通大臣賞	団 体	十文字環境美化を考える会（秋田県横手市）
		団 体	長池オアシス管理会（大阪府熊取町）
	農林水産大臣賞	団 体	長岡市立山本中学校（新潟県長岡市）
		団 体	まちづくり宮ノ下地区委員会（福井県福井市）
花の ま ち づ く り 推 進 協 議 会 長 賞	花のまちづくり コンクール 推進協議会長賞	団 体	F・Cボランティア（神奈川県相模原市）
		団 体	長岡市立桂小学校（新潟県長岡市）

くり 優 秀 賞	団 体	富士市花の会（静岡県富士市）
	団 体	ガーデンシティコープ金剛東すみれ会（大阪府富田林市）
	団 体	NPO法人にじのかけ橋（兵庫県神戸市）
	団 体	名塩さくら台景観緑化クラブ（兵庫県西宮市）
	個 人	城戸夫巳枝（千葉県浦安市）
	個 人	佐野誉志照 佐野恵美子（静岡県浜松市）
	個 人	太田よしの（兵庫県香美町）
	企 業	イオックス・ヴァルト企業組合（富山県南砺市）

- 花のまちづくり奨励賞 花のまちづくりコンクール審査委員会賞 [11件]
- 花のまちづくり入選 [52件]
- 花のまちづくり努力賞 [3件]

（6）ユニバーサルデザイン施設等普及事業

都市公園等を誰もが支障なく共に利用でき、利用者や地域住民への潤いと安らぎを与えることを目的として、ユニバーサルデザイン施設等で優れた機能を有するものを地方公共団体等に提供している。

平成30年度は、20団体に対して、テーブル・ベンチセット、水飲み場、高齢者対応ベンチ等のユニバーサルデザイン施設58基を提供した。

（都道府県） 群馬県、新潟県

（政令市） 仙台市、千葉市、川崎市、新潟市、名古屋市、神戸市

（その他市町村） 八戸市、前橋市、足利市、焼津市、袋井市、湖西市、
檜原市、葛城市、東広島市、福山市、三原市

（公園関係団体）（一財）公園財団（武蔵管理センター、淀川河川公園管理センター）

（7）被災地の花・みどり提供事業

東日本大震災等激甚災害の被災地において、仮設住宅や災害公営住宅等の居住環境を改善し、居住者の方々に対し植物を通じて精神的側面から支援することや、街なかでの花やみどりによる景観形成を目的として、地方公共団体へ花苗とプランターを提供している。

平成30年度は、以下の11団体の36箇所の仮設住宅や災害公営住宅、公園等に計319基を提供した。

青森県：八戸市

岩手県：大船渡市
宮城県：仙台市、石巻市、山本町
福島県：檜葉町
京都府：福知山市
福岡県：東峰村
大分県：津久見市
熊本県：熊本県、大津町

3. 調査、研究及び技術開発及びこれらの成果の普及

都市緑化の技術や知識を普及し、都市における自然環境の保護及び整備、安全でうるおいのある生活環境の形成を図るため、自主研究、共同研究、受託研究等の方法により、都市緑化における緑地の保全、再生及び創出、良好な緑化空間の創出、植栽植物の育成及び管理等に関する調査・研究及び技術開発に取り組んだ。

平成30年度における主な活動は、次のとおりである。

(1) 共同調査研究

① 特殊空間緑化に関する調査研究

特殊緑化技術に関する研究活動と、本研究参加者の研究活動への理解を深めるため屋上緑化等に関わる研究者等と「平成30年度 特殊緑化に関する研究発表会」を実施した。

また、緑化技術開発として「樹木の耐風性試験」、「つる植物土壌量適性実験」、「グリーンシェードベンチに関する研究」、また、「屋上緑化による雨水貯留遅延量の検討」を実施した。また、日韓屋上緑化技術国際セミナーへの協力をを行い日韓での情報交換を実施した。

② 公園緑地における防災技術に関する調査研究

防災公園技術ハンドブックの改訂に向けた検討作業を引き続き進めた。また、熊本地震について、復旧状況等の現地調査を継続するとともに、関係学会等と共同で実施したヒアリング調査をもととした調査研究成果を日本造園学会に論文発表した。

・発表内容：熊本地震を踏まえた災害時における都市公園への車両による避難行動の適否に関する検討

・発表先：ランドスケープ研究オンライン論文集 2018年11巻
日本造園学会

③ ユニバーサルデザインに関する調査研究

都市公園におけるユニバーサルデザインに関する調査研究の報告書を取りまとめホームページで公開した。

また、障害当事者とともに都市公園・交通機関を利用しながらアクセシビリティを研究する事業を開始した。

④ グランドカバー・ガーデニングに関する調査研究

平成29年度に作成した校庭芝生の安全のしおりを配布し、安全な維持管理の普及啓発に努めた。地域性系統緑化に関しては、植物材料の生産や利用の実態を把握するための情報収集を行った。

さらに、日本大学工学部の中野和典教授を招き、花壇型人工湿地に関する講演会を開催し、意見交換を行った。

⑤ 都市環境の保全、育成、創造に関する調査研究

社会の成熟化による価値観の多様性やグローバル化が進む中、都市公園の民間の事業参加やアイデア等を取り入れた活用事例を整理し、地域活性化やまちおこしに繋がる緑の再活用、建築物と一体となったりノバージョンで存在価値や資産価値を高める取り組みなどの事例を調査し、その有効な手法等の検討を行った。

(2) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

① 都市緑化による環境の創造、改善に関する調査研究及び技術開発

- ・都市緑化等による温室効果ガス吸収源対策等の推進等に関する調査
- ・自立型の緑化施設による暑熱対策効果に関する実証調査
- ・緑の機能の定量評価を行うシミュレーションツール等に関する既往研究レビュー業務
- ・緑の有する生産性向上機能に関する調査

② 都市における新たな緑化空間の創出に関する調査研究及び技術開発

- ・民間による緑地創出の推進に向けた方策検討調査
- ・市民緑地制度活用検討会支援業務

③ 都市における緑化を推進するための植栽植物の育成、管理に関する調査

- ・上野恩賜公園桜並木樹勢回復基礎調査委託

④ 国・地方公共団体による都市緑化、企業による緑地創出、市民・企業参加の花と緑のまちづくり等の推進に関する調査研究

- ・平成30年度海外における日本庭園保全再生方策検討調査
- ・造園・緑化技術の海外展開に係る今後の方策に関する調査
- ・北京国際園芸博覧会出展調査
- ・都市と緑・農が共生するまちづくりの実現に向けた施策に関する効果分析及び展開方策の検討調査
- ・全国都市緑化くまもとフェア基本構想策定業務
- ・造園技術の変遷に関する資料翻訳業務
- ・防災公園整備に係る技術情報の収集

(3) 科学技術研究

平成27年度に科学技術研究費助成事業（科研費）に採択された以下の

研究を継続実施するとともに、学会等で発表した。

- ・研究課題名：アーバン・クール・スポットを創出する都市樹木の最適な樹冠形状の効果検証
- ・発表会議名：第10回国際都市気候会議（ICUC（The International Conference on Urban Climate））
2018年8月、アメリカ：ニューヨーク市立大学
- ・発表会議名：2018年度日本建築学会大会（東北）学術講演会
2018年9月、仙台

（４） 都市緑化フォーラム2018

以下のとおり「都市緑化フォーラム2018」を開催し、調査研究等の成果について発表を行った。

会 場	日比谷コンベンションホール（東京都千代田区）
開 催 日	平成30年12月10日（月）
テーマ	これからの都市の姿と緑の果たす役割
基調講演	新たな社会における都市のすがたと緑の果たす役割 東京大学 教授 横張 真
研究発表	<ul style="list-style-type: none">・緑の認定「SEGES（シージェス）」を活用した企業緑地の傾向 公益財団法人 都市緑化機構 菊池佐智子・公園緑地のリノベーションに関する研究 グリーンビジネス・マネジメント共同研究会 川崎鉄平・「公園のグッドプラクティス」の発行にあたって～新しい公園経営がもたらすこれからの都市像 ユニバーサルデザイン共同研究会 中野 竜・レーザ測量データによる庭園の構成要素の3Dモデル化に関する研究 東京農業大学 熊崎理仁・地域性系統緑化とコミュニティガーデン グランドカバー・ガーデニング共同研究会 吉岡俊哉/渡辺晋二・震災時の車両による避難について 防災公園とまちづくり共同研究会 岡村 淳・特殊緑化の新たな動向 特殊緑化共同研究会 藤田 茂

4. 評価事業

（１）社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）による評価

緑をまもり育てる活動を通じて社会や環境に貢献している企業の緑地を

対象に、特に優れた取組みを評価・認定する事業を実施した。

① そだてる緑

民間が所有する土地で緑地の保全・創出活動に取り組んでいる企業等の取組みを認定する「そだてる緑」について、平成30年度は以下のとおり新規審査2件（表中◎）、更新審査を4件（表中★印）、維持審査を13件実施した。

（平成30年度末現在の認定数は24サイト。認定後は更新審査（3年ごと、現地審査）と維持審査（毎年、書類審査）を実施。）

また、「Superlative Stage（スプラティブ・ステージ）」を永年にわたり、持続、発展、深化させてきた企業に対して、「緑の殿堂」として新規1サイト（表中◇印）を授与した。

（平成30年度末現在の「緑の殿堂」認定数は5サイト（表中◆、◇印）。認定後は更新審査（5年ごと、現地審査）を実施。）

■そだてる緑 平成30年度認定サイト

認定企業：サイト	所在地	認定年度
シミックCMO株式会社 足利工場	栃木県足利市	2005
◆三井住友海上火災保険株式会社 駿河台ビル／駿河台新館／E COM駿河台	東京都千代田区	2005
◆トヨタ自動車株式会社 トヨタの森	愛知県豊田市	2005
アサヒビール株式会社 神奈川工場	神奈川県南足柄市	2005
◆ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 幸田サイト	愛知県額田郡	2005
花王株式会社 和歌山工場	和歌山県和歌山市	2005
◆富士通株式会社 沼津工場	静岡県沼津市	2006
★◇ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 大分テクノロジーセンター 国東サテライト	大分県国東市	2007
株式会社グリーン・ワイズ 本社事業所	東京都多摩市	2008
サンデンホールディング株式会社 サンデンフォレスト・赤城事業所	群馬県前橋市	2008
西武鉄道株式会社 「飯能・西武の森」	埼玉県飯能市	2008
立正大学 熊谷キャンパス	埼玉県熊谷市	2008
出光興産株式会社 北海道製油所	北海道苫小牧市	2010
★出光興産株式会社 愛知製油所	愛知県知多市	2010

★日産自動車株式会社 日産テクニカルセンター／日産先進技術開発センター	神奈川県厚木市	2011
ダイキン工業株式会社 ダイキンアレス青谷	鳥取県鳥取市	2011
株式会社ディスコ広島事業所 桑畑工場	広島県呉市	2012
株式会社晴海コーポレーション 晴海アイランドトリトスクエア	東京都中央区	2014
★YKK株式会社 黒部事業所 YKKセンターパーク	富山県黒部市	2016
株式会社ディスコ 長野事業所 茅野工場	長野県茅野市	2017
日本電信電話株式会社 NTT武蔵野研究開発センタ	東京都武蔵野市	2017
旭化成株式会社／旭化成ホームズ株式会社 あさひ・いのちの森	静岡県富士市	2017
◎日本電信電話株式会社 NTT横須賀研究開発センタ	神奈川県横須賀市	2018
◎三菱電機株式会社 受配電システム製作所	香川県丸亀市	2018

② つくる緑

都市開発・建築行為の計画に関し、良好な緑空間を創出し、社会・環境に貢献する緑の計画であることを認定する「つくる緑」について、平成30年度は申請がなかった。

③ 都市のオアシス

公開性・安全性・環境への配慮等の基準を満たす民間事業者所有の緑地を認定する「都市のオアシス」部門について、平成30年度は以下の5サイトを新たに認定した。(平成30度末の認定数は50件、3年毎に更新)

■都市のオアシス 平成30年度新規認定サイト

認定サイト	事業者名	所在地
大日本印刷 市谷の杜	大日本印刷株式会社	東京都新宿区
グランドプリンスホテル高輪 日本庭園	株式会社プリンスホテル	東京都品川区
大手町ファーストスクエア ファーストスクエアガーデン	NTT都市開発株式会社	東京都千代田区
G-BASE田町	三井不動産株式会社・清水建設株式会社	東京都港区
パッシブタウン	YKK不動産株式会社	富山県黒部市

(2) 都市緑化技術の審査・証明

都市緑化技術の審査・証明は、民間企業等において開発された新技術の有効性を審査、証明し、国や地方公共団体に情報提供することにより、新技術の活用を促進し、都市の緑化に係わる公共工事の質の向上や効率的な運用等に寄与することを目的としており、平成30年度は審査・証明にかかる広報等を実施した。

5. 都市緑化に関する人材の育成、情報の収集及び発信、国際協力等

(1) 調査研究活動への支援

大学院生等の若手研究者による都市緑化に関する調査、研究及び技術開発を奨励するため、優れた研究テーマに対して助成を行うことにより、次世代を担う若手研究者の育成を図っている。

平成30年度は、以下の研究機関に所属している5名の若手研究者の調査研究活動に対して、総額50万円の支援を行った。

所属研究機関	研究テーマ
東京大学大学院	車載カメラより取得された画像からの木の自動認識及び構造情報の推定
東京大学大学院	バイオ炭とCAM植物を利用した低コスト型屋上緑化技術の開発
東北大学大学院	都市のグリーンインフラ政策採用の阻害要因と波及に向けた都市間ネットワークに関する研究：都市林を対象として
首都大学東京大学院	全国都市緑化フェアによる効果の評価フレームの検討
東京工業大学大学院	大地震時における人的被害軽減のための効果的な緑化方法に関するシミュレーション分析

(2) 都市緑化技術研修会の実施

都市のみどりに関わる実務者や技術者の能力向上、都市緑化技術に関する情報の提供及び技術の普及等を目的として、以下のとおり都市緑化技術研修会を開催した。

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

開 催 日 平成31年1月10日（木）～11日（金）

参 加 者 49人

テ ー マ 平成時代の都市緑化の総括と今後の展望

講 義 ・公園緑地・都市緑化行政の動向

国土交通省 都市局公園緑地・景観課
緑地環境室長 五十嵐 康之

・平成時代における都市緑化研究の深化と今後の発展

筑波大学大学院 システム情報工学研究科
緑地環境研究室 教授 村上 暁信

・環境・社会・ガバナンス（ESG）に配慮した不動産投資
と緑・まちづくり

CSRデザイン環境投資顧問株式会社

- ・熊本市における平成期の公園施策の歩みについて
熊本市都市建設局土木部公園課 技術主幹 高松 良磨
- ・パブリックスペースを核にしたL I V A B L E C I T Y
(住みやすい都市) の創成
東京農業大学地域環境科学部造園科学科
准教授 福岡 孝則
- ・平成時代の緑化技術の総括と今後を展望するにあたり
株式会社富士植木 技術顧問 山本 幹雄

現地視察 G I N Z A S I Xガーデン、東京ミッドタウン日比谷

(3) 機関誌の発行

優れた緑化の取り組み事例や都市緑化技術等に関する最新情報の発信及び調査研究成果の発表等を内容とする機関誌「都市緑化技術」を発行している。

平成30年度は以下のとおり発行し、全国の造園・環境系の学部等を有する大学、図書館などの多くの閲覧が見込まれる機関・施設等に配布した。

No. 106 「医療福祉とみどり」

No. 107 「歴史に学ぶこれからのみどりのまちづくり」

No. 108 「みどりの中のスポーツ」

発行部数 (各号) 2, 000部

配布箇所数 (各号) 1, 000箇所

(4) 調査研究成果の発表

都市緑化に係る調査研究を通じて得られた成果について、関係学会において発表を行った。

- ・発表課題名：(1) 身近なみどりが住民避難に資する効果の検討
(2) みどりの防火効果を組み込んだ延焼シミュレーションシステムの改良

・発表先：ランドスケープ研究 Vol. 82 増刊 造園技術報告集 10
2019、日本造園学会

(5) ホームページの活用

ホームページを活用して、都市緑化に関する情報や調査研究等を通じて得られた成果などを発信した。

(6) 植樹保険制度の活用支援

植樹保険の団体保険契約者として、公共植栽工事において枯損した樹木等の植替えが円滑かつ速やかに行われるよう、植栽工事請負者に対する制度の活用支援を行っている。平成30年度における植樹保険の付保件数は356

件であった。

(7) 訪問学習等への対応

学生等の訪問学習として、平成30年11月8日(木)に、正智深谷高等学校5名の受け入れを行った。

このほか、全国花育推進協議会の活動に参加し、教育現場において、花と緑に親しみ・育てる機会を提供し、やさしさや美しさを感じる情操教育、花や緑を介した世代交流、都市緑化の普及啓発活動に協力した。

(8) 造園CPDプログラムへの登録

都市のみどりに関わる技術者の緑化技術の向上等を目的として、造園CPD協議会に参加し、主催する以下の事業について造園CPDプログラムへの登録を行った。

- ・都市緑化フォーラム2018
- ・平成30年度 都市緑化技術研修会

(9) 国際博覧会への出展協力

平成31(2019)年4月29日から10月7日まで中華人民共和国北京市で開催される「2019年北京国際園芸博覧会」への政府屋外出展(日本庭園)に関し、「2019年北京国際園芸博覧会屋外出展実行委員会」の事務局として、国土交通省、2019年北京国際園芸博覧会協会、関係団体、協賛企業等との連絡調整を行った。

(10) 海外技術調査及び国際協力

第8回日韓屋上緑化技術国際セミナーを次のとおり実施した。

会 場	日比谷図書文化館コンベンションセンター
日 時	平成30年10月10日(水) 10:15~16:30
講 演	・東大門デザインプラザ(DDP)屋上緑化の管理運営 (株)韓国都市緑化 代表 キム チョルミン ・屋内緑化における壁面緑化の活用 (有)緑花技研 代表 藤田 茂 ・ソウル市公園緑地政策方案 ソウル市みどり都市局 局長 チェ ユンジュン ・セゾン庁舎!世界一番長い屋上緑化! (株)ランドアキ生態造景 代表 キム ジンス ・ソウル路7017とソウル市役所壁面緑化の管理運営 ソウル市みどり都市局造景課 チーム長 ソク スンウ ・壁面緑化及び室内緑化の韓国トレンド類型別事例分析 (株)エスパス造景 所長 ジョン ミスク ・安全性や経済性を踏まえた都市のみどりの育て方 (屋上緑化と高木移植に関する今後の課題)

都市緑化研究開発集団 代表 橘 大介
・日本における屋上緑化雨水貯留流出遅延効果の現状と課題
東邦レオ(株) 課長 梶川 昭則

(11) その他の協力等

都市緑化基金等連絡協議会（会員数55団体）の活動に事務局として協力した。

6. 会議の開催

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ・平成30年5月23日（水） 第19回通常理事会
議案 平成29年度事業報告及び収支決算（案）について
定時評議員会の開催について
規程の改正について
報告事項 職務執行状況について
- ・平成30年12月7日（金） 第20回臨時理事会
議案 規程等の整備について
顧問の解任について
報告事項 職務執行状況について
- ・平成31年3月13日（水） 第21回通常理事会
議案 平成31年度事業計画及び収支予算について
平成31年度資産運用方針について
新たな公益事業の創設に伴う変更認定申請について
規程の改正について

(2) 評議員会

- ・平成30年6月14日（木） 第6回定時評議員会
議案 平成29年度収支決算（案）について

7. 理事の異動

平成31年3月31日付け

退任 鬼木幹生、平山武史

※平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。